

小平市みどりの基本計画検討委員会 第三回 会議要録

開催日時

平成 21 年 9 月 18 日(金曜)午後 7 時 05 分～午後 9 時 00 分

開催場所

小平中央公民館 2 階 学習室 3

出席者

金子委員長、山田副委員長、荒木委員、菊地委員、鈴木委員、竹内委員、野口委員、原田委員、前田委員、和智委員 10 名

(事務局)2 名

(支援業者:株式会社 環境・グリーンエンジニア) 2 名

(傍聴者 1 名)

会議次第

1 開会

2 議事

- (1) 現況調査結果などの報告
- (2) 委員意見の紹介
- (3) 「小平市みどりの基本計画《改定に向けた素案》」の市民意見の概要
- (4) 小平市のみどりの基本計画(改定案) 計画内容の概要
- (5) 小平市のみどりの基本計画(改定案) 重点施策の検討
- (6) その他

4 閉会

配布資料

1. 議事次第・委員名簿
2. 資料－1 第二回小平市みどりの基本計画検討委員会要録
3. 資料－2 現況調査結果などの報告
4. 資料－3 小平市みどりの基本計画(改定に向けた素案)についての市民意見の概要
5. 資料－4 計画内容の概要
6. 資料－5 重点施策の検討

＜議事＞

事務局

今回と次回の委員会では、本日の資料をもとに、じっくりと議論を進めていきたい。

1. 現況調査結果などの報告

(事務局による資料説明)

委員長

公共のみどりと民間のみどりに関すること、緑視率調査の結果、ボランティアの活動状況などについての報告であった。ご不明な点やご意見があれば伺いたい。

2. 委員意見の紹介

委員

現行計画では実施時期などに関するスケジュールがないことが反省材料と考えられる。まず、現行計画にある施策や事業のうち、何をやって、何をやっていないか明確にし、事業実施上の課題を明らかにしたい。

新しいみどりの基本計画では、実施時期や事業を担当する部課を明確にしておきたい。

将来を見据えた視点で、この計画の策定期間である10年後に何ができるか考えて行きたい。

計画書は一般の市民はほとんど読まないであろう。また、市民にメリットがないと協力を得ることも難しいだろう。岐阜県各務原市の事例がわかりやすかったが、小平市のみどりの基本計画も体系化して、一目でわかるような工夫が必要であろう。

委員長

委員の皆さまに頂いたご意見は、計画を策定する上での協議・検討事項としたい。委員会の場所以外でも、気づいた点やご意見がありましたら、随時事務局へお寄せいただきたい。

3. 「小平市みどりの基本計画《改定に向けた素案》」の市民意見の概要

(事務局による資料説明)

委員長

市民意見の反映として、みどりの維持管理に市民参加の機会を盛り込むこと、小平のみどりを次世代へ引き継ぐことなどを検討したい。細かな対応は委員会の中で協議していきたい。

4.小平市のみどりの基本計画(改定案) 計画内容の概要

5 小平市のみどりの基本計画(改定案) 重点施策の検討

(事務局による資料説明)

委員長

資料-4は、小平のみどりの現況と課題を踏まえ、どのような方向性で将来イメージと目標を目指すかという、計画内容の概要を示している。資料-5では、目標を実現するための検討資料として、具体的な重点施策・重点事業の案を掲げている。これらの事について、委員の皆様のご意見をお聞かせ願いたい。

委員

重点事業としてあかしあ通りをみどりの骨格として位置づけているが、これ以外に、学校の校庭の芝生化、具体的な用水路の整備、玉川上水の緑化等も検討して頂きたい。

事務局

用水路については、水の流れが復活していることもあり、親水整備が進んでいる例がある。次回の委員会でお示ししたい。3.6m幅の用水路では大規模な整備は難しい面があるため、公園や緑地に隣接する場所を選んで整備することを考えている。

委員

事業実施時期の区分は、計画の実効性を重視して、具体的に検討内容や実施内容が分かるようにしてもらいたい。

事務局

現段階では具体的なことを想定していないので、実施時期に関する細かい区分をしていないが、計画を進める上で配慮していきたい。

委員

実施を踏まえた計画は進歩的だと思う。事業の実施には財源の問題があり、計画に対する行政側の担当部門が明確であると実施の確実性が高まり、市民の理解を得やすいと考える。

委員

小平のみどりは民有地が主である。民有地のみどりは早期に消失することが考えられるため、保全は早い時期の実施が望ましい。

委員

みどりの基本計画は、実際に事業を実施していく上でどの程度の拘束力があるのか。たとえば学校の校庭の芝生化については、管理に多くの手間や費用がかかることもあり、教育委員会は芝生化を行わないことを公言している。実施には行政の連携が求められる。また、計画と予算との整合性が分かれば教えて頂きたい。

委員

小平市の財政状況から、新規の事業の実施には限界があると思う。また、事業を確実に実施するためには、市の内部で横断的な組織をつくり、実務的に中断することのないようにしていただきたい。

委員

歴史的資産である小平の用水は、東京都からの水の供給により成り立っている。この点を含め、計画の中で用水を小平のシンボルとして前端的に打ち出していけば、今後も水の供給等に配慮がなされるのでは。予算もかからないし、小平にとって良いPRにもなる。

委員

あかしあ通りをみどりのシンボルロードに育てるとあるが、実際に生活している市民としては、府中街道など、他にある縦の道を同時に整備して頂きたいと思う。また、市民の意識啓発にも力を注いでほしい。

委員長

重点施策について、実施時期の考え方、用水のあり方、事業実施担当課の明確化や行政の連携、財源の問題、意識啓発の必要性等についてご意見を頂いた。これらの課題は、次回の委員会までに整理して引き続き協議していきたい。

事務局

市では、基本的に、グリーンロードを結ぶ縦軸・横軸のネットワークを強化すること、樹林地等の緑地保全、公有地の緑化推進の3つを重視して考えているが、優先的に実施したい重点施策について、ご意見を頂ければ、調整して計画に反映したい。

6.その他

第4回検討委員会は10月19日(月)を予定する。

以上